



春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
小・中学校では卒業式や入学式が行われ、私も臨席して参りました。子ども達の新たな門出に立会うことができ、喜びの限りです。

さて、日頃は市政における様々な課題に取り組みながら、月日の経つ早さを実感しております。いよいよ平成29年度がスタートしますが、次世代を支える子ども達と共に日々邁進していきますので、何卒お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

3月定例会
一般質問

●「清須オレンジサポートチーム」について

本市の認知症患者は、推定で4,349人(65歳以上人口15,534人の内)です。認知症の前段階である軽度認知障害の高齢者も増えています。認知症に関しては早期発見・早期診断が重要とされており、本市では平成28年10月から「オレンジサポートチーム」を編成し、認知症の疑いのある人を把握し訪問して、状態に応じて適切な医療や介護サービスにつなげる取り組みを行っています。この取り組みについて、質問しました。

大塚 今後の啓発に関する計画について

市職員 民生委員を始めとした各種団体や、高齢者を支える世代へのチラシ配布などで、PRを継続していきます。

大塚 現時点での課題について

市職員 認知症患者の初期段階で早期に対応するため、相談しやすい体制づくりや、地域で潜在している方の情報を早くキャッチできるような体制づくりに努めていきます。



若い世代に、認知症について知ってもらう必要があります。そのため、**本市イベント内でのPRや出前講座を行うことが肝心です。**

町内会やブロック単位の地域で支える必要があります。**市政推進委員の説明会などで周知するのも一つの方法です。**

●「JR 清洲駅」整備について

清須市内の主たる鉄道駅の1日の利用者数は、名鉄新清洲駅7,853人、名鉄須ヶ口駅7,684人、JR清洲駅3,750人、JR枇杷島駅3,603人、となっております。その内、名鉄須ヶ口駅とJR枇杷島駅には自由通路があり、利用客の利便性を高めています。

清須市都市計画マスタープランには、「名鉄新清洲駅・名鉄丸ノ内駅の鉄道駅の施設整備や、隣接市にあるJR清洲駅も含め、徒歩・自転車により安全に駅まで行ける道路の整備等、利用促進につながる整備に努める」とありますので、現在土地区画整理事業を行っている、JR清洲駅について質問しました。

大塚 稲沢市におけるJR清洲駅西口整備の動向について

市職員 稲沢市からの情報提供はありませんが、稲沢市議会における過去の一般質問においてJR清洲駅西口整備の質問が行われていることは確認しています。

大塚 JR清洲駅西口自由通路の整備について

市職員 西口自由通路の必要性は感じられますが、現在施行中の清洲駅前土地区画整理事業が先決であり、西口自由通路の整備については、地域全体としての要望があれば市として、その旨を稲沢市に伝え、協議の場を設け協力していきたいと考えています。

西口自由通路の整備には、**住民の要望が必要**です。この要望が稲沢市との協議・連携に強く反映されます。

福祉常任
委員会質疑

大塚 平成29年度の観光振興への取り組みについて

市職員 外国人誘客に向け、旅行会社と連携し、清洲城等を入れた訪日ツアーの造成に力を入れていきます。また、H29年度から3年間にわたり、「愛知県大型観光キャンペーン」が実施されます。期間中は観光客数の2割増が予想されていますので、この機会に、清須市にも多くの観光客を誘客できるよう取組んでいきます。

大塚 観光分野でのICT(情報通信技術)を活用した環境整備や、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)の活用について

市職員 H29年度には、ICTを活用した「映像を多言語で紹介する観光案内看板」を設置し、清洲城以外(尾張西枇杷島まつり・山車文化)の観光資源をPRしていきます。また、AR・VRの取り組みでは、名古屋市が進める、「信長攻路~桶狭間の戦い 人生大逆転街道~」の環境整備において、その銘板を清洲城に設置することになっています。この銘板には仕掛けがあり、ARを活用し、スマートフォン等をかざすと写真フレームが現れ、記念写真が撮ることができます。他にも仕掛けがありますが、本市においても観光分野での活用を研究していきたいと考えています。



●市長選及び市議補欠選について

清須市選挙管理委員会は、任期満了(8月6日)に伴う市長選について7月16日告示、同23日投票と決めました。併せて市議の補欠選(改選数1)も行われます。

(現在3期目の加藤静治市長(74)は昨年の12月議会で、今期限りで勇退を表明していました。)

●清洲分庁舎の解体について

H29年度中に清洲分庁舎の解体作業が行われます。これに伴い、現存のゴミステーションは清洲分庁舎の公用車駐車場に移動します。その後は清洲分庁舎のゴミステーションでも油の回収が可能となる予定です。(現在は油の回収は本庁舎のみ)

●ごみ分別アプリ「さんあーる」について

スマートフォンやタブレット端末から、ごみの分別や排出方法、収集日が確認できるようになりました。AppStoreやGooglePlayから「さんあーる」を検索し、『ごみアプリ「さんあーる」』をクリックしてください。右のQRコードでも読み取りできます。



AppStore用QRコード



GooglePlay用QRコード



●地域活動に参加してきました！ (皆様の声を大切にします)



1/7 「清須市成人式」



1/8 「消防出初式(西春日井二市一町)」



3/3 「清洲中学校卒業式」



3/16 「清洲小学校卒業式」



3/25 「西市場子ども農園(仮称)」



4/1 「春日五条川さくらまつり」



4/6 「清洲小学校入学式」



4/7 「清洲中学校入学式」

大塚よしゆき
清須を良くする会
(後援会)

〒452-0941 愛知県清須市西市場一丁目9-6
TEL・FAX : 052-400-7937
MAIL : otsuka.yoshiyuki0712@gmail.com

●「清須市財政中期試算(平成 29 年度当初予算ベース)」について

平成 29 年度予算が確定しましたので、当初予算ベースでの財政中期試算について、ご報告致します。

【歳入】

(単位 百万円)

区分	年度	28年度 (最終予算)	29年度 (当初予算)	30年度	31年度	32年度
市税		11,838	11,867	11,994	12,083	12,024
地方譲与税		177	174	174	174	174
地方税交付金		1,415	1,445	1,445	1,436	1,759
地方特例交付金		52	56	56	56	56
地方交付税		2,195	1,350	1,280	1,210	1,145
普通交付税		2,145	1,300	1,230	1,160	1,095
特別交付税		50	50	50	50	50
交通安全対策特別交付金		14	14	14	14	14
分担金及び負担金		375	399	399	399	399
使用料及び手数料		271	279	279	279	279
国庫支出金		3,052	2,845	3,452	3,774	3,586
県支出金		1,289	1,275	1,452	1,416	1,509
財産収入		44	24	23	23	23
寄附金		10	20	20	20	20
繰入金		1,601	1,138	910	910	760
繰越金		725	200	200	200	200
諸収入		634	709	644	644	646
市債(※1)		2,822	1,240	972	1,070	1,069
歳入合計・・・①		26,514	23,035	23,314	23,708	23,663

【歳出】

(単位 百万円)

区分	年度	28年度 (最終予算)	29年度 (当初予算)	30年度	31年度	32年度
人件費		3,462	3,427	3,450	3,402	3,406
物件費		5,313	5,459	5,322	5,343	5,346
維持補修費		40	42	42	42	43
扶助費		4,401	4,619	4,813	5,016	5,226
補助費等		2,182	2,107	2,252	2,304	2,421
普通建設事業費		5,316	2,411	3,482	3,655	3,226
公債費		1,789	1,847	1,786	1,747	1,793
積立金		1,055	0	0	0	0
投資及び出資金		0	0	0	0	0
貸付金		108	107	107	107	107
繰出金		2,818	2,986	3,137	3,205	3,364
予備費		30	30	30	30	30
歳出合計・・・②		26,514	23,035	24,421	24,851	24,962

財源過不足額(※2)
(①-②)

▲ 1,107

▲ 1,143

▲ 1,299

※1：平成 30 年度以降の市債には、財源政策を目的とした特例的な市債(臨時財政対策債など)を含まない。

※2：財源不足は、臨時財政対策債の発行、基金の更なる取崩しの他、行政改革による歳出削減努力等を行うことで解消を図る。

○本市では、公共施設の統廃合、インフラ整備、社会保障関係費の増加などで、経営的経費の財源不足を基金の取り崩しや臨時財政対策債に頼る状況が続いています。

○今後は、財政の健全性を維持しながら、行政サービスや大規模事業などを実行するために、効率的かつ計画的な財政運営が必要です。そのため、中期的な財政試算を行い、今後の行財政運営の指標としています。

□歳入では、市税は同程度で推移すると見込まれます。一方、**普通交付税**は合併特例措置の逡減による減額が見込まれます。

□歳出では、社会保障関係費の自然増に伴い、扶助費・繰出金が毎年度増加する見込みです。公債費は臨時財政対策債の発行抑制などで、H29 年度をピークに緩やかに減少する見込みです。財源不足は H32 年度を最大(12 億 9,900 万円)として、毎年度生じることとなります。

皆さんは、「合併特例債」をご存知ですか？

合併特例債とは、合併した市町村が合併後 10 か年度に限り使える地方債(借金)です。

行う事業費の 95%まで借入れでき、利子を合わせた返済額の 70%が普通交付税で市に入る有利なものです。

例えば 1 億円を合併特例債(年利 1.2%、20 年返済)で借入れると、返済総額(約 1 億 1,200 万円)の 70%である 7,840 万円が国から普通交付税として市に入ってきます。この場合、市は 3,360 万円の負担だけで済むことになります。つまり、1 億円の資産が、3,360 万円で手に入る大変有利なものです。



実は、平成 32 年度に合併特例債の期限が切れ地方交付税が最も低くなります。形状的な財源不足に対しては、歳出削減や新しい財源の確保などの行政改革が必要です。

市長選も近づいてきています。今後、清須市がどのように行財政運営を打ち立て、実行していくのか、皆さんも注目して下さい。

私達議員も、より良い施策を提案し続けます。